

松江赤十字病院 『患者さまの権利章典』

「医療は、患者さまと医療提供者とのお互いの信頼関係をもとに協力して作り上げていくものであり、患者さまに主体的に参加していただく必要があります。」

このような考え方にもとづき、松江赤十字病院は、患者さまの権利や責務についてつぎのとおり表明します。

1. 患者さまには、医療提供者との相互の協力関係のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 患者さまには、診療に関して十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。
3. 患者さまには、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかつたことについて十分理解できるまで質問する権利があります。
4. 患者さまには、医療従事者が提案する治療法に対して自らの意思で決定できる権利があります。
5. 患者さまには、診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利があります。
6. 患者さまには、医療提供者に対し患者さま自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。
7. 患者さまには、病院の規則を守る責務があります。

くつぎたいは

第29号(2009年 夏号) 松江赤十字病院

病院理念

松江赤十字病院は、地域の中核医療機関として、「高度」「良質」「公正」な医療を提供します。

新型インフルエンザ

呼吸器外科部長 磯和理 貴



発熱外来模擬訓練

インフルエンザは毎年流行をくり返しており、毎年数千人から二千人近くの方が亡くなる病気で、インフルエンザウイルスの表面には抗原(こげん)と呼ばれるタンパクがあり、これが毎年少しずつ変わって、新たに感染する方がいます。しかし一〇年から四〇年の周期でインフルエンザウイルスの抗原は大きく変わり、世界的な大流行

を起こします。これが新型インフルエンザです。二〇〇九年四月にブタ由来のA型インフルエンザ(H1N1)のヒトへの感染が、メキシコ及びアメリカ合衆国で明らかになり、新型インフルエンザと定義されました。五月には日本国内でも発生し、七月一日には鳥根県でも

第一例目の発生が明らかになりました。本稿を書いている七月六日現在、世界では九四、五二名(うち死亡者は四二九名)、国内でも一、七六四名の発生が報告されています。症状は従来のインフルエンザと同様、突然の高熱、せき、のどの痛み、だるい感じに加えて、はなみず・はなづまり、頭痛などですが、季節性インフルエンザに比べて、下痢

やはきけが多い可能性が指摘されています。幸いにして現時点では国内での重症者の報告はなく、大半は自宅療養のみで回復しているようです。しかしインフルエンザウイルスは高温多湿に弱く、従来のインフルエンザが猛威をふるってきたのも秋から冬にかけてです。今年の秋は昨年までより多くの人がインフルエンザにかかるのは確実だとしても、これまでのような「比較のおとなしい」タイプなのか、「ワルク」なっていくのかは誰にもわかりません。また一時期よく報道されていた、鳥由来の高病原性ウイルス(H5N1)も忘れてはいけません。今年に入ってから半年間だけでも世界では四一名の発症、一二名の死亡が報告されています。



発熱外来テント設営

前ではマスクをつけましょう。マスクを持っていない場合は、くしゃみやせきをするときは、他の人から顔をそむけて、口と鼻をティッシュや手でおさえる「せきエチケット」を守ってください。感染してしまつたらなるべく外出はせず、他人へ感染をひろげないことです。新型インフルエンザの発生は自然現象です。しかし突然やってくる地震などと異なり、人間の智慧により被害を最小限に食い止めることは可能です。

チーム医療紹介

褥瘡対策チーム

褥瘡は元来床ずれともいわれ、寝たきりになっ
てしまった方にできる治
りにくい傷として有名で
す。自力で動けない方、
感覚障害のある方、
手術前後で安静が必
要な方に生じます。

不良、体の拘縮、傷の治
癒を遅らせる薬剤の影響
などがありますと一層危
険性が高く重症になりや
すいのです。一旦生じて



から感染（細菌が侵
入して増殖すること）す
ると体全体に悪影響を及
ぼします。他には痛み、
におい、体液の漏出など
も生じますので療養にさ
らにストレスが伴うこと
になります。また、栄養

しまうとなかなか早期
の治癒は困難ですので褥
瘡の予防、治療が重要視
されています。
全国的にも褥瘡対策は
近年大変注目されていま
す。日本褥瘡学会が十年

前に立ち上げられ、毎年
の学術集会には五千人を
超える様々な医療職が参
加しています。

当院の褥瘡対策チーム
は、平成十四年より褥瘡
対策チームとして活動し
ています。現在は医師三
名、皮膚・排泄ケア認定
看護師、看護師、理学療法
士、薬剤師、管理栄養士、
事務員で構成されていま
す。そして昨年度より週

に一回褥瘡回診を始めま
した。回診では傷の処置
は当然ですが、周囲の皮
膚のケア、マットの選択、
圧迫を防止するための体
の向き調整、関節の拘
縮の評価、栄養の評価な
ど様々な点を検討して主
治医、病棟担当看護師と
ともに治療、ケアを行う
ことが活動目標です。

当院では、入院時から
すべての患者さんに対し
活動性や全身状態を評価
して予防のための計画を
立てています。しかし、
入院時にすでに褥瘡があ
る方もおられますし、さ
まざまな対策をとっても
体の状態の悪化のため

褥瘡を生じることがあり
ます。このようなときは
早期にチームとして病棟
に直接お伺いして診療の
サポート役として活動し
ております。また、在宅
での褥瘡ケアも行われて
いますので病院、訪問看
護ステーション、介護施
設などの職員を対象とし
たセミナーも行っていま
す。

今後、高齢化がますます
すすみますので褥瘡が生
じる可能性を持つ患者さ
んも増えてくることが予
想されます。我々褥瘡対
策チームの願いは褥瘡が
なくなることです。今後
も「床ずれ治し隊（た
いじい）として褥瘡対策チ
ーム一同情熱を持って取り
組みますのでよろしく
お願いします。



認定看護師の紹介

新生児集中ケア認定看護師

門城 すみ子



私は「新生児集中ケア」
の認定看護師として、赤
ちゃんにとっての集中治
療室であるNICUに勤
務し、急性期にある新生
児の看護ケアを中心に活
動しています。

NICUは救命の場であ
るだけでなく、赤ちゃん
にとっては生活の場であ
り、ご家族にとっては

現在は赤ちゃんに行わ
れている看護ケアをふり
返り、赤ちゃんの反応や
サインを見逃さず、一人
ひとりの赤ちゃんに合っ
たより良いケアを実践し、
看護の質の向上を目指し
ています。

育児の場にもなります。
赤ちゃんがご母さんの胎
内で守られているような
優しい環境を提供し、成
長・発達が促進できるケ
アを目標に日々努力をし
ています。また、入院に
よって赤ちゃんが離れ離
れになったご家族を支え、
赤ちゃんを受け入れ自信
を持って育児ができるよう
にお手伝いをさせていた
だいています。

赤ちゃんやご家族から
学ぶことも多く、日々勉
強の毎日です。今後も、
スタッフとともに、お母
さんの「生む力」、ご家
族の「育む力」、そして
赤ちゃんの「生きる力」
をこれからもサポートし
ていき、赤ちゃんにご家
族中心の看護に努めてい
きたいと思っております。



夜間・休日に救急外来を受診される患者さまへ

〔時間外の特別料金・時間外選定療養費算定について(6月1日から)〕
(夜間：午後4時50分～翌午前8時30分、休日：終日)

松江赤十字病院は平成十六年に国から「第三次救急医療機関」としての「救命救急センター」の指定を受け二十四時間体制で地域の住民の皆さまに安全で質の高い医療を提供するべく努力してまいりました。

救命救急センターの本来的位置付は、重篤救急患者の救急医療を行う高度医療機関とされ、初期及び第二次救急医療施設からの転送患者の受け入れを行いました。

救命救急センターの本来的位置付は、重篤救急患者の救急医療を行う高度医療機関とされ、初期及び第二次救急医療施設からの転送患者の受け入れを行いました。

れを行うこととされています。しかしながら、夜間・休日の救急外来では必ずしも緊急な治療の必要のない患者さまの受診が多くなり、本来の緊急性が高く高度専門的な医療を必要とする患者さまの診療に支障をきたす事態となっています。

このような状況を改善するためには、国の進めている各医療機関の役割分担を明瞭化したうえで

連携を図る制度の導入が求められます。そこで、当院では平成二十一年六月一日から夜間・休日に救急外来を受診された患者さまについては時間外の特別料金(時間外選定療養費)として毎回三、一五〇円(税込)をご負担いただくことになりました。

ただし、左記の患者さまについては時間外の特別料金はいただきません。

一、入院を必要とする方
二、当日当院を受診し、
三、他院からの紹介状を

持参された方
四、当院の医師により注射・処置などのため、救急外来を受診するよう指示されていた方
五、交通事故・労働災害・公務災害で来院された方
六、処置・手術の診療行為を必要とした方
七、その他、当院の医師が緊急性があると判断した方

この措置は、ひとえに地域の皆さまに安全で良質な医療を提供するためので、ご理解とご協力をお願いいたします。

ボランティア

托鉢活動

アイカム株式会社 小藤 宏昌

弊社の経営方針の中に「地域に生かされ地域の一人として、地域に根ざした活動を行うことが私たちの使命であると考え行動する。」とあり、地域貢献、地域の皆様と良好なコミュニケーション作りをするため、清掃、ごみ拾いなどを「托鉢活動」と称して行っております。

つきましては、医療用カーテンリースで日頃大変お世話になっております松江赤十字病院様にも恩返しと感謝の気持ちを込めて「托鉢活動」をさせていただきます。

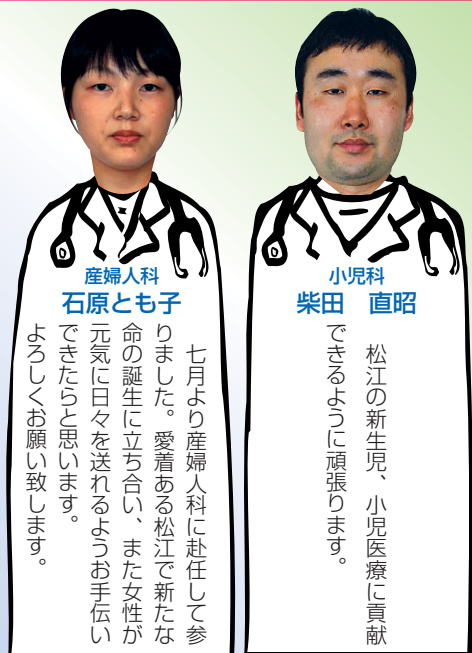
今回はスタッフ四名で駐車場の草取り、ごみ拾いを実施いたしました。わずかな時間ではありましたが少しは環境改善のお力になれたかと思えます。

院内の環境整備の方でもカーテンメンテナンスを変わらず全力を尽くしてまいりますので今後とも宜しくお願い申し上げます。



今回アイカム様様にボランティア活動をしていただきました。当院では、ボランティアを募集しています。ボランティアご希望の方は総務課まで相談下さい。

5〜7月医師紹介



松江の新生児、小児医療に貢献できるように頑張ります。

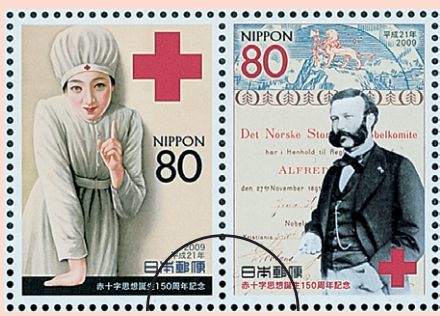
七月より産婦人科に赴任して参りました。愛着ある松江で新たな命の誕生に立ち合い、また女性が元気に日々を送れるようお手伝いできたらと思います。

「赤十字思想誕生二五〇周年記念」

特殊切手発売

今年、赤十字の創立者アンリ・デュナンが、戦場において敵味方の区別なく救護活動を行なうという国際赤十字・赤新月運動の着想を得たソルフェリーノの戦い(一八五九年)から一五〇年を迎えます。

赤十字事業・活動にご理解、ご協力よろしくお願ひします。



全日空より

「幸せの花すずらん」の贈り物

毎年すずらんの季節である五月下旬から六月上旬に、すずらんの花がANAグループから送られてきます。そして、今年も主産地である北海道からすずらんの花が米子空港に贈られてきました。私達は、米子空港ですずらんの花と押し花のしおりを受け取り病院へ戻りました。病院では、院長先生から患者さまお一人おひとりにしおりが渡され、患者さまは、「元氣になったわ。ありがとう。」など笑顔で受け取っておられました。

私にも、日々患者さまの笑顔に支えられ、患者さまから学ばせて頂く事が多々あります。そんな日々の感謝の気持ちや、患者さまがこのすずらんの花をきっかけに、闘病生活を前向きに過ごし、心の励みになりますようにという気持ちを込めて贈りました。

皆さまの幸せを願い、看護師としてこれからも患者さまに感謝の気持ちをお忘れずしていきたいと思えます。



☆料理の世界☆
アジってえらい!

栄養課 奥野 将徳



鱈の刺身

き生きたものを選んでください。

鮮度の良いものは、お刺身、生姜とねぎをまぜてたたきにするのも良いですよ。あと、塩焼き、フライ、南蛮漬け、たたきをさらに細かくたたいて、そこに味噌、しょう油、生姜、ねぎ、しその葉などを混ぜて作るなめろう、そして干物。開いたりするのはちよっと大変かもしれないけれど、家族で作って、しょっぱかった、塩が足らなかつたなどと食卓での話も進むのではないのでしょうか。アジって本当「えらい」!!

何がえらいかと言うと、値段が安く、次にいろいろな食べ方ができ、そして血中コレステロールを減らしたり、血栓をできにくくしたりするEPA、脳の活性化を図ってくれるDHAが豊富で、カルシウム、ビタミンB1、B2、さらに、体内では生成できない必須アミノ酸をバランスよく含む良質なたんぱく質も摂取できます。

六月から九月にかけてが旬の真鱈、全国の人に分布し、水揚げ量も多い最も身近な存在、えらが鮮やかな紅色で、目が生



鱈の梅しそ煮

平成21年度 外来糖尿病教室

※毎回予約制 申込・問い合わせ先 担当保健師 吉岡 TEL(0852)24-2111 ※糖尿病手帳をお持ちの方はご持参下さい。

合併症を予防する! 9月16日(水)

- 時間:10:00~13:30 会場:日赤厚生棟会議室
- ★合併症を出さない、進ませない...糖尿病・内分泌内科副部長 垣羽 寿昭
 - ★食事療法の実践 その③ 減塩と食物繊維の話...管理栄養士(糖尿病療養指導士) 安原みずほ
 - ★手軽にできる運動 ~家にある物を使って~...病棟看護師(糖尿病療養指導士)
 - 食事会 「からだに優しい 減塩メニュー」
 - 体験談『ある眼科科で』.....すこやか会会員 藤本 法慎

糖尿病治療のコツ~薬物療法を受けるとき~ 11月18日(水)

- 時間:10:00~13:30 会場:日赤厚生棟会議室
- ★インスリンや経口薬の種類と作用...糖尿病・内分泌内科部長 佐藤 利昭
 - ★インスリン注射をする時の注意点...薬剤師(糖尿病療養指導士) 川谷 恭典
 - ★食事療法の実践 その④ 嗜好食品とのつきあい方...管理栄養士(糖尿病療養指導士) 長谷 教代
 - ★手軽にできる運動 ~楽しみながらストレッチ~...病棟看護師(糖尿病療養指導士)
 - 食事会 「寒さに負けない あったかメニュー」
 - 体験談『私の取り組み』.....すこやか会会員 岡田 真司

平成21年度 健康医学講座

■受講は事前にお申し込みください。

8月5日(水)

時間 14:00~15:30
喫煙は病気・禁煙は治療
講師:呼吸器外科部長 磯和 理貴



9月30日(水)

時間 14:00~15:30
「快適な排尿」のために
講師:泌尿器科部長 小海 力



10月26日(月)

時間 14:00~15:30
乳がんと乳腺の病気
講師:乳腺外科部長 村田 陽子



場所:松江赤十字病院 厚生棟会議室(病院向かい「松江薬局」となり)

受講料:無料

申込み先:松江赤十字病院 医療社会事業部 TEL:0852-24-2111(代)